

LGBT+への取組評価指標「PRIDE 指標 2024」において最高評価「ゴールド」を受賞

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕）をはじめとするグループ5社^{※1}は、本日、一般社団法人work with PrideによるLGBT 等の性的マイノリティ（以下、LGBT+）に関する取組評価指標「PRIDE 指標2024」において、最高評価の「ゴールド」を8年連続^{※2}で受賞しました。

〈みずほ〉では、LGBT+の社員が不利益を感じることなく安心して働くことができる職場づくりを目指し、人事制度・福利厚生制度や相談窓口の設置等の環境を整備しています。また、全社員を対象に、SOGI ハラスメントに関する研修や「LGBT+とアライのための実態調査アンケート」を定期的実施するなど、社員の意識啓発にも積極的に取り組んでいます。さらに、LGBT+とアライの社員ネットワークメンバーが中心となり、自分の思いや経験を社内に発信するイベントを開催するなど、社員が自律的に理解促進に取り組む風土が育まれてきました。

2021 年度からはLGBT+アライ企業として「私たちから変えていく」をメッセージとして掲げ、同じ思いを持つ任意団体や同業他社と連携し、共生社会実現に向けた取組みを継続しています。2024 年の PRIDE 月間には、LGBT+当事者への理解と支援を示す 30 のアクションを紹介する企業連合プロジェクト「Pride Action30」に協賛し、社内へ展開、社員と共に意識啓発活動に取り組みました。

株式会社みずほ銀行では、2017 年に邦銀で初めて住宅ローンにおいて、家族ペア返済や収入合算での配偶者の定義に同性パートナーを含めるお取り扱いを開始。みずほ信託銀行株式会社の信託商品「選べる安心信託」においても、同年より信託財産受取人に同性パートナーをご指定いただけるようにするなど、お客さまや社会の多様なニーズにお応えできる商品・サービスの提供にも取り組んでいます。

〈みずほ〉は今後も、社員一人ひとりが自分らしさを発揮し、お客さまや社会の課題解決に貢献していく組織であり続けます。そのために、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを推進し、社員の多様な視点や発想を業務推進や意思決定に積極的に取り入れ、革新的な商品の開発やサービスの向上等の新たな企業価値の創造を目指していきます。



PRIDE 指標「ゴールド」

※1 株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社みずほ銀行、みずほ信託銀行株式会社、みずほ証券株式会社、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

※2 株式会社みずほフィナンシャルグループは、9 年連続して最高評価の「ゴールド」を受賞。

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO